

## 外郭団体評価調書【公益・一般法人用】

## 1. 基本情報

令和4年7月1日 現在

団体名	公益財団法人 新潟市海洋河川文化財団		
所在地	新潟市中央区西船見町5932番地445		
代表者(職・氏名) (所属・職)	代表理事 理事長	電話番号	025-222-7500
	高橋 道映	ホームページ	http://www.marinepia.or.jp/kaiyoukasen
市所管課	文化スポーツ部 文化政策課	電子メール	kanri@marinepia.or.jp
基本財産 (基本金)	10,000 千円	設立年月日	平成28年3月15日
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	10,000 千円	100.0 %
		千円	%
		千円	%
		千円	%
		千円	%
設立目的	新潟市を中心とする海洋・河川文化（海、河川をはじめとする水辺環境とそこに生息する生物などの影響を受けて発展してきた、人々の暮らし、生活様式、価値観等）の現況把握、歴史的背景及び保護継承を通して、社会における海洋・河川文化の重要性・関係性を啓発し、もって新潟市の文化醸成に寄与するとともに、地域社会の持続的発展に寄与することを目的とする。		
経営理念 経営方針	【経営理念】 時代の変遷とともに、環境や生活様式の変化などにより新潟独自の地域文化が薄れようとしている中、新潟の特色ある海洋・河川文化を再確認し、その魅力を市民に啓発することによって、新潟文化の個性と多様性の伸長を図り、文化を活かした創造都市の実現を目指す。 【経営方針】 新潟市水族館の指定管理者として、これまで積み上げてきた飼育・繁殖技術などの専門知識と経験、築き上げてきた全国的なネットワークを土台として、経営資源を体制強化していく中で地域社会の持続的発展に寄与する。また、文化創造のほか、教育普及、観光振興、環境保全、地域振興など多領域にわたる方々と連携しながら、時代の要請に即した課題の解決に向けた事業や研究活動・普及活動を行って行く。		

2. 主要事業

事業名①	海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業							
事業概要	<p>(概要) 新潟における海洋・河川文化の現状や変遷を調査研究及び情報発信することにより、海洋・河川文化及び海洋・河川等、人との関わりの大切さを後世に継承し、併せて地域社会の持続的発展の担い手を育む。</p>							
	<p>(市政へどのように寄与・貢献するのか) 新潟市を中心とする海洋・河川文化の現状把握、歴史的背景及び保護継承を通して、社会における海洋・河川文化の重要性・関係性を啓発し、もって新潟市の文化醸成に寄与する</p>							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
公益事業	-	収入額	千円	予算	612,735	624,608	602,673	593,896
				決算	611,721	612,095	603,174	-
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
海洋・河川文化の普及啓発(体験学習)	R4	回	7					
	R3	回	6	5	台風の影響により一部中止したため(田んぼ(脱穀)体験)			
	R2	回	6	1	新型コロナウイルス感染症拡大防止により一部中止したため			
	R1	回	6	6	計画通り			
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
海洋・河川文化の普及啓発(講演会)	R4	回	3					
	R3	回	6	4	新型コロナウイルス感染症拡大防止により一部中止したため			
	R2	回	0	0				
	R1	回	2	2	計画通り			
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
海洋・河川文化の普及啓発(各種施設との連携)	R4	件	出張展示 3 学校教育連携 24 実習生受入 15					
	R3	件	出張展示 3 学校教育連携 24 実習生受入 15	出張展示 5 社会教室連携 1 学校教育連携 35 実習生受入 0 講師派遣 6	実習生受入は新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止したため未達成			
	R2	件	出張展示 3 学校教育連携 24 実習生受入 15	出張展示 3 学校教育連携 21 実習生受入 0	新型コロナウイルス感染症拡大防止により一部中止したため			
	R1	件	未定	56	実習・体験学習など受け入れ業務が中心のため計画がたてられないため			

活動指標④	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
海洋・河川文化の 調査研究 (研究発表)	R4	件	7		
	R3	件	4	3	新型コロナウイルス感染症の影響による発表機会の減少
	R2	件	4	1	新型コロナウイルス感染症の影響による発表機会の減少
	R1	件	未定	7	年度によって異なるため
活動指標⑤	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
海洋・河川文化の 調査研究 (各種会議)	R4	件	30		
	R3	件	30	38	各種会議・研究会へ積極的に参加したため
	R2	件	30	22	新型コロナウイルス感染症拡大防止により一部中止したため
	R1	件	未定	39	年度によって異なるため
活動指標⑥	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
海洋・河川文化の 調査研究 (共同研究)	R4	件	14		
	R3	件	14	14	計画通り
	R2	件	12	14	新規の事業を行ったため増加
	R1	件	1	12	新規の事業を行ったため増加

活動指標⑦	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
海洋・河川文化の 保護保全 (生息域内保全)	R4	回	12		
	R3	回	12	10	ほぼ計画通り
	R2	回	11	17	生息調査を拡大
	R1	回	8	9	ほぼ計画通り
活動指標⑧	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
海洋・河川文化の 保護保全 (連携調査)	R4	回	18		
	R3	回	18	13	調査依頼に応じて減少
	R2	回	6	3	調査依頼に応じて減少
	R1	回	6	3	調査依頼に応じて減少
活動指標⑨	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
海洋・河川文化の 保護保全 (生物調査)	R4	回	未定		
	R3	回	未定	38	漂着生物は予測できないため計画できない
	R2	回	未定	30	漂着生物は予測できないため計画できない
	R1	回	未定	23	漂着生物は予測できないため計画できない

所管課の関わり及び  
主要事業にかかる評価

評議会等を通じて情報共有を行った。新型コロナウイルスの影響により機会の減少などがあるものの、今後も引き続き調査・研究に努めて欲しい。

2. 主要事業

<b>事業名②</b>		海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業						
<b>事業概要</b>		<p>(概要) 新潟の自然環境とそこに生息する水生生物の展示を基礎としながら、多種多様な環境の生物を展示し、各種体験型プログラムを実施することで、市民が海洋・河川や水生生物などに親しむ機会の充実などを図り、海洋・河川に関心を持つきっかけとなる機会を創出する。</p> <p>(市政へどのように寄与・貢献するのか) 指定管理施設である新潟市水族館を活用し、水生生物や自然環境についてわかりやすく展示し、併せて海洋・河川文化の普及啓発に努め、市民が気軽に楽しみながら学べる文化施設とすることで、市民の知的欲求に応えるとともに、地域の自然や文化への誇りを醸成する。</p>						
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
公益事業	-	収入額	千円	予算	-	-	-	-
				決算	事業(1)に含む	事業(1)に含む	事業(1)に含む	-
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
水生生物に関する知識の普及振興(いきもの教室)		R4	回	6				
		R3	回	3	2	新型コロナウイルス感染症拡大防止により一部中止したため		
		R2	回	4	4	計画通り		
		R1	回	10	9	ほぼ計画通り		
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
水生生物に関する知識の普及振興(企画展示)		R4	回	4				
		R3	回	4	4	計画通り		
		R2	回	2	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止により一部中止したため		
		R1	回	4	4	計画通り		

活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
水生生物に関する知識の普及振興 (参加型イベント)	R4	回	3		
	R3	回	3	5	職員の工夫により追加実施したため
	R2	回	1	1	計画通り
	R1	回	5	5	計画通り
活動指標④	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
水生生物に関する知識の普及振興 (記念日イベント)	R4	回	2		
	R3	回	2	2	計画通り
	R2	回	2	2	計画通り
	R1	回	2	2	計画通り
活動指標⑤	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
水生生物に関する知識の普及振興 (特別ガイドツアー)	R4	回	1		
	R3	回	1	1	計画通り
	R2	回	1	1	計画通り
	R1	回	1	1	計画通り
活動指標⑥	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
水生生物に関する知識の普及振興 (大人向け教室)	R4	回	5		
	R3	回	5	4	新型コロナウイルス感染症拡大防止により一部中止したため
	R2	回	2	4	1つのプログラムで複数回実施したため
	R1	回	1	1	計画通り

活動指標⑦	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
水生生物の収集、飼育、展示 (飼育展示)	R4		600種 30,000点超		
	R3		600種 30,000点超	600種 30,000点超	計画通り
	R2		600種 30,000点超	600種 30,000点超	計画通り
	R1		600種 30,000点超	600種 30,000点超	計画通り
活動指標⑧	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
水生生物の収集、飼育、展示 (常設解説)	R4	種類	6		
	R3	種類	6	6	計画通り
	R2	種類	6	6	計画通り
	R1	種類	7	7	計画通り
活動指標⑨	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
水生生物の収集、飼育、展示 (生物収集)	R4	回	48		
	R3	回	36	89	地元漁協の協力により、収集活動機会が増加
	R2	回	33	146	生物収集活動の強化により増加
	R1	回	52	149	生物収集活動の強化により増加
活動指標⑩	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
水生生物の収集、飼育、展示 (生物交換)	R4	回	7		
	R3	回	14	15	ほぼ計画通り
	R2	回	14	9	新型コロナウイルス感染症の影響による交換機会の減少
	R1	回	14	38	展示生物充実のため増加

所管課の関わり及び  
主要事業にかかる評価

新型コロナウイルスなどの影響もありながら、おおむね計画通りに実施できている。今後も積極的に、市民への普及啓発の機会を創出してほしい。

## 2. 主要事業

事業名③	施設管理に付帯する事業							
事業概要	(概要) 施設利用者に対する利便性を図るため、レストラン及び売店、自動販売機等の設置を行う。							
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 収益事業の一部を施設管理経費へ充当する。							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
公益事業	-	収入額	千円	予算	56,939	60,811	41,095	49,265
				決算	60,151	39,820	50,102	-
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
レストラン・軽食の設置	R4	箇所	4					
	R3	箇所	4	4	計画通り			
	R2	箇所	4	4	計画通り			
	R1	箇所	4	4	計画通り			
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
売店の設置	R4	箇所	1					
	R3	箇所	1	1	計画通り			
	R2	箇所	1	1	計画通り			
	R1	箇所	1	1	計画通り			
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
自動販売機等の設置	R4	箇所	19					
	R3	箇所	18	19	増設			
	R2	箇所	18	18	計画通り			
	R1	箇所	17	18	増設			
所管課の関わり及び 主要事業にかかる評価	施設利用者へのさらなる利便性の向上を目指し、内容の充実を図ってほしい。							

## 3. 組織等の状況

## (1) 役職員数の状況

令和4年7月1日 現在 (単位:人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
役員数	9	9	9	9
常勤	1	1	1	1
市派遣				
市職員OB	1	1	1	1
プロパー役員				
他団体からの派遣				
非常勤	8	8	8	8
市兼任	1	1	1	1
市職員OB	1	1	1	1
他団体兼任	6	6	6	6
その他				
職員数	54	52	51	53
常勤	28	28	28	28
市派遣				
市職員OB				
プロパー職員	28	28	28	28
他団体からの派遣				
非常勤	26	24	23	25
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	26	24	23	25
見直し等の取組み	<p>・安定した財団運営を行っていくための役員(理事)機能の強化のため増員。 ・女性役員を配置するため増員(0人→2人)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、受付職員2名減員にて対応</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、受付職員1名減員にて対応</p> <p>雇用期間5年超の臨時職員を無期嘱託職員へ転換</p>			

## (2) 職員の状況(市派遣職員を除く。)

令和4年7月1日 現在 (単位:人)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員の状況	管理職	2	4	4	4
	一般職	52	48	47	49
	合計	54	52	51	53
年齢構成	20代以下	21	18	18	22
	30代	10	11	11	10
	40代	16	11	11	8
	50代	6	11	10	13
	60代以上	1	1	1	0
	合計	54	52	51	53

## (3) 役員報酬・職員給与等の状況

(決算 単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度（予算）
報酬・給与等	228,672	223,918	226,721	224,198
内 市職員分	0	0	0	0
役員	5,178	5,116	5,156	5,465
常勤	4,473	4,752	4,752	4,750
内 市職員分				
非常勤	705	364	404	715
内 市職員分				
職員	223,494	218,802	221,565	218,733
常勤	169,178	169,916	169,377	166,549
内 市職員分				
非常勤	54,316	48,886	52,188	52,184
内 市職員分				
平均年収（市職員を除く。）				
常勤役員	4,473	4,752	4,752	4,750
常勤職員	6,042	6,068	6,049	5,948
見直し等の取り組み	ベースアップ分の増加	ベースアップ分の増加	正規職員と非正規職員の間不合理な格差是正	雇用期間5年超の臨時職員を無期嘱託職員への転換を可

## (4) 給与等の適正化の状況（市派遣職員を除く。）

現在の給与体系		今後の見直し予定	
	団体独自の給与体系	有	予定時期 年度～
●	市の給与体系を準用	●	無
	その他〔 〕		その他〔 〕

## 4. 財務の状況

## (1) 正味財産増減計算書

(決算 単位：千円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
一般正味財産増減の部	経常収益	687,072	677,784	681,598
	基本財産運用益			
	特定資産運用益			
	受取会費			
	事業収益	671,873	651,916	653,277
	自主事業収益	63,878	42,297	53,763
	受託事業収益	607,995	609,619	599,514
	受取補助金等・負担金	15,196	25,866	28,220
	その他経常収益	3	2	101
	経常費用	665,341	665,202	663,930
	事業費	664,110	662,836	661,138
	公益目的事業費	629,273	636,808	632,627
	収益目的事業費	34,837	26,028	28,511
	(自主事業費)	34,837	26,028	28,511
	(受託事業費)			
	法人会計			
	管理費	1,231	2,366	2,792
	評価損益等調整前当期経常増減額	21,731	12,582	17,668
	評価損益等	▲ 4,035	▲ 2,245	▲ 4,072
	基本財産評価損益等			
	特定資産評価損益等			
法人税・住民税及び事業税	▲ 4,035	▲ 2,245	▲ 4,072	
当期経常増減額	17,696	10,337	13,596	
経常外収益	11,778	0	0	
経常外費用	11,778	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	17,696	10,337	13,596	
一般正味財産期首残高	23,440	41,136	51,472	
一般正味財産期末残高	41,136	51,473	65,068	
指定正味財産増減の部	受取補助金等・負担金			
	その他			
	基本財産評価損益			
	特定財産評価損益			
	一般正味財産への振替額			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000	10,000	10,000	
指定正味財産期末残高	10,000	10,000	10,000	
基金増減の部	基金受入額			
	基金返還額			
	当期基金増減額	0	0	0
	基金期首残高			
基金期末残高	0	0	0	
正味財産期末残高	51,136	61,473	75,068	

(参考)

(別掲) 人件費	224,989	223,919	226,721
役員分	4,553	5,117	5,156
職員分	220,436	218,802	221,565

## (2) 貸借対照表

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
資産の部	資産の部合計	254,630	252,766	273,526
	流動資産	104,686	97,231	109,172
	現金預金	98,192	88,439	101,756
	未収金	5,368	7,385	6,443
	有価証券			
	その他流動資産	1,126	1,407	973
	固定資産	149,944	155,535	164,354
	基本財産	10,000	10,000	10,000
	特定資産	137,909	143,960	153,236
	その他固定資産	2,035	1,575	1,118
	有形固定資産	2,035	1,575	1,118
無形固定資産				
その他投資等				
負債の部	負債の部合計	203,494	191,295	198,458
	流動負債	64,668	49,298	50,864
	短期借入金			
	その他流動負債	64,668	49,298	50,864
	固定負債	138,826	141,997	147,594
長期借入金				
その他固定負債	138,826	141,997	147,594	
正味財産の部	正味財産の部合計	51,136	61,471	75,067
	基金	0	0	0
	(基本財産充当額)			
	(特定資産充当額)			
	指定正味財産	10,000	10,000	10,000
	うち補助金			
	(基本財産充当額)	10,000	10,000	10,000
	(特定資産充当額)			
	一般正味財産	41,136	51,471	65,067
	代替基金			
その他一般正味財産	41,136	51,471	65,067	
(基本財産充当額)				
(特定資産充当額)				
負債の部及び正味財産の部合計		254,630	252,766	273,525

## (3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市財政支出等の合計	623,191	635,484	627,734
補助金	15,196	25,865	28,220
事業費補助金			
運営費補助金	15,196	25,865	28,220
設備投資に係る補助金			
負担金			
交付金			
委託料	607,995	609,619	599,514
内 随意契約額※	607,995	609,619	599,514
指定管理料（公募）			
指定管理料（非公募）	607,995	609,619	599,514
業務委託（随意契約）			
業務委託（その他）			
貸付金（期中借入額）			
出資・出捐金（追加額）			
その他			
貸付金残高			
損失補償契約に係る債務残高			
損失補償限度額			
債務保証に係る債務残高			
その他財政援助の状況 （税や使用料の減免、建物の無償貸与等）			

(市財政支出等がある場合) 目的、内容、必要性、増減理由等

新潟市水族館における、適正かつ円滑に管理運営、飼育・展示の強化及び海洋河川文化の研究・普及啓発に取り組むためには、新潟市からの財政支出が必要である。

## (4) 遊休財産の状況

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
純資産	51,136	61,471	75,067
公益目的保有財産	▲	▲	▲
公益目的事業を行う為に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産	▲ 10,000	▲ 10,000	▲ 10,000
特定の財産の取得又は改良に充てるために保有する資金	▲	▲	▲
合理的に算出された必要限度額以内の特定費用準備資金	▲	▲	▲
抛出者の意思に従って、使用・保有されている財産	▲	▲	▲
遊休財産額	41,136	51,471	65,067

5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

(1) 財務の健全性

指標		令和元年度	令和2年度	令和3年度
経常損益		17,696 千円	10,337 千円	13,596 千円
自己資本比率	純資産	20.1 %	24.3 %	27.4 %
	純資産＋負債			
流動比率	流動資産	161.9 %	197.2 %	214.6 %
	流動負債			
固定長期適合率	固定資産	78.9 %	76.4 %	73.8 %
	固定負債＋純資産			
借入金依存度	借入金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	資産の部合計			
剰余金（欠損金）	純資産 －資本金（基本金）	41,136 千円	51,471 千円	65,067 千円
公益目的事業比率	公益目的事業費	94.6 %	95.7 %	95.3 %
	公益・収益目的事業費＋管理費			
遊休財産水準	公益目的事業費	15.30	12.37	9.72
	遊休財産額			
資金運用	基本財産としての 有価証券の保有	有	① 運用方針を明文化し、それに従って運用している。 ② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。 ③ 資金運用に関する情報収集に努めている。 ④ 元本割れのリスクはない。	
		無		

(2) 団体の自立性

指標		令和元年度	令和2年度	令和3年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	89.2 %	93.8 %	92.1 %
	経常収益＋経常外収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	2.2 %	3.8 %	4.1 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	100.0 %	100.0 %	100.0 %
	市委託料			

(3) 経営の効率性

指標		令和元年度	令和2年度	令和3年度
職員1人当たり 売上高	事業収益	12,442 千円	12,537 千円	12,809 千円
	職員数			
職員1人当たり 経常利益	事業活動収支差額	328 千円	199 千円	267 千円
	職員数			
管理費比率	管理費	0.2 %	0.4 %	0.4 %
	経常費用			
職員1人当たり 管理費	管理費	23 千円	46 千円	55 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	32.2 %	33.0 %	33.3 %
	経常収益			
役員人件費比率	役員人件費	2.0 %	2.3 %	2.3 %
	人件費			

(4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況	
● 有	計画名称〔 中長期計画 〕 計画期間 令和元年度 ～ 令和5 年度
概要・数値目標 令和1年度から令和5年度までの財団及び水族館の計画を策定	
	未策定理由 無〔 〕

② 経理の適正化の取組み	
専門家による監事・監査役就任	専門家による会計指導
● 有	就任時期 28 年度～ 依頼先職種〔 FUN税理士法人 〕
	● 有 依頼時期 28 年度～ 依頼先職種〔 FUN税理士法人 〕
	無

③ 事務処理改善の取組み	
● 有	取組内容 28 年度～ 〔 各種規程・規則の整備、会計システムの更新、各種講習会の参加など 〕
	無

④ 人材育成の取組み	
● 有	取組内容 29 年度～ 〔 財団の今後を担う人材（係長クラスを中心とした）向けのリーダーシップ・組織開発研修を実施 〕
	無

⑤ 情報公開に関する規定の整備状況	
● 有	策定時期 28 年度～ 規定名称〔 (公財)新潟市海洋河川文化財団 情報公開規程 〕
	● 定款等 28 年度～
	● 事業内容 28 年度～
	● 役員名簿 28 年度～
	● 役員報酬 28 年度～
	● 事業報告 28 年度～
	● 正味財産増減計算書 28 年度～
	● 貸借対照表 28 年度～
	● 事業計画書 28 年度～
	● 予算概要 28 年度～
	無〔 未整備理由 〕

団体ホームページ掲載

改善対応区分
A:改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)
B:改善の取組の効果が始まっている
C:改善の取組に着手
D:改善の取組に向けて検討中
E:今は実施せず今後の課題とする

6. 経営改善状況（個別の取組み）

(1) 前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

改善指示事項		海洋河川文化の普及啓発だけでなく、観光振興を通じた経済的な効果の観点からも新潟市水族館の特色や魅力について、市内外へ積極的にアピールしていく必要がある。					
改善のために取り組んだ内容		「自社メディア（HPやチラシ等）」「ソーシャルメディア」「プレスリリース」「有料広告」を柱とし、それぞれの特性を活かしながら効果的・効率的にPRを行った。新型コロナウイルス感染症の拡大により新潟県外からの来館が難しい中、新潟県内を中心に広報活動を行った。また、新潟市水族館のファンを増やすため、新潟市在住者向けに年間パスポートの購入促進を行った。					
取り組みによる成果		遠足による幼稚園・保育園の団体客が回復し、県内修学旅行の団体も増加した。また、総入館者に対する年間パスポート購入者及び利用者の割合も増加し、平成20年度の年間パスポート導入以来、最高の購入者数となった。					
改善・対応区分		A	B	● C	D	E	
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	ホームぺージアクセス件数20万件以上	計画	ホームぺージアクセス件数20万件以上	ホームぺージアクセス前年度比5%以上	ホームぺージアクセス前年度比5%以上	ホームぺージアクセス前年度比5%以上	
		実績	約60万件	約63万件			
	進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 「ウミガラスの初展示」「カマイルカ出産」「企画展示」など、常にタイムリーな情報をテレビ、ラジオ、SNSを利用し発信した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和3年度のアクセス数はコロナ禍前には至っていないが、前年度比5%増を達成した。					
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 積極的な広報活動やSNSを利用してタイムリーな情報を発信を行い、新潟市水族館の認知度を高め、興味を持ってもらうことで、結果的にホームぺージアクセス数が増加することで、最終的な行先として選択してもらうこと。					
	課題への対応	【今後の課題への対応】 入館者数とホームぺージアクセス件数は概ね比例することから、広報活動やSNSによる情報発信のほか、ホームぺージの更新頻度を増やし新たな情報常に提供する。					
	年間パスポート購入者9,800人以上	計画	年間パスポート購入者9,800人以上	年間パスポート購入者前年比5%以上	年間パスポート購入者前年比5%以上	年間パスポート購入者前年比5%以上	
		実績	13,482人	14,992人			
		進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 積極的なPRやキャンペーンを実施。また、新型コロナウイルス感染症の影響により新潟市民の利用が増え、平成20年度の年間パスポート導入以来、最高の購入者数となった。継続して、購入者の増加に努めている。				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 新規会員の獲得及びパスポート更新の促進による会員数の維持・増加させること。				
課題への対応		【今後の課題への対応】 生物の成長や変化が体感できるよう常に新鮮味のある展示を心掛け、十分満足していただき、繰り返し観覧したくなる魅力ある水族館を目指して行く					

改善指示事項		普及啓発活動を含む各種事業について、事後的な評価が可能な成果指標を設定することが必要である。								
改善のために取り組んだ内容		実施事業ごとに成果指標を数値化できるような設問を盛り込んだアンケートを実施し、各事業別に客観的な評価やニーズの把握に努めた。また、アンケートの検証とあわせ、事業の振り返りを行った。								
取り組みによる成果		プログラム参加者の満足度や要望等を把握することが出来、次のプログラム実施に向け課題点を見つけることが出来た。								
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E			
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
	プログラム参加者の満足度70%以上	計画	参加者満足度70%以上		参加者満足度前年比2%以上向上		参加者満足度95%以上		参加者満足度95%以上	
		実績	99.30%		97.70%					
	進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 啓発事業の実施毎にアンケート調査を実施し、「とても面白かった」「またぜひ参加したい」との回答を多くいただき、満足度が非常に高かった。また、次回参加を希望したいとの回答も多くいただいているため、継続して事業を行っている。								
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 楽しみながら学べる内容とし、次回プログラムも参加していただけるよう高い満足度を維持すること。								
	課題への対応	【今後の課題への対応】 事後のアンケート調査結果を分析し、同じプログラムでも内容に変化をつける。また、新たなプログラムを企画・立案し常に新鮮味のある内容とする。								
	改善事項の検証	計画	改善事項を反映		改善事項を反映		改善事項を反映		改善事項を反映	
		実績	改善事項を反映		改善事項を反映					
		進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 各啓発事業実施毎にアンケート調査の検証及び事業の振り返りを行った。改善箇所について次回実施に反映した。繰り返し行うことで満足度向上に繋がっている。							
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 今後も、各啓発事業実施毎にアンケート調査と振り返りを実施し、参加者のニーズの把握を継続的に行うこと。							
課題への対応		【今後の課題への対応】 アンケート調査による改善事項の検証のほか、参加者の様子を直接観察し、不備な点を改善する。								

改善対応区分
A:改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)
B:改善の取組の効果が始まっている
C:改善の取組に着手
D:改善の取組に向けて検討中
E:今は実施せず今後の課題とする

(2) 【その他改善を要する事項】の改善状況

改善に向けた取り組み 評価指標	今後改善を要する事項	4年後(令和6年)の新潟市水族館の指定管理者へ再指定					
	改善のために取り組んだ内容	豊富な経験・知識・技術を持った職員による適切な管理運営を行い、お客様の安心・安全及びお客様サービスの向上に努めた。					
	取り組みによる成果	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入館者数は大きく減少したものの、年間パスポート購入者は増加した。また、アンケート調査による「満足度」も、90%以上と高かった。					
	改善・対応区分	A	B	C	●	D	E
	実施事項	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	計画	水族館の適正な管理運営	水族館の適正な管理運営	水族館の適正な管理運営	水族館の適正な管理運営		
	実績	水族館の適正な管理運営	水族館の適正な管理運営				
	進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 充実した施設を活用し、魅力溢れる展示を行った。その他、各種企画展示、特別プログラム、キャンペーン等を実施し、お客様サービスに努めた。また、新潟市と連携を取りながら新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を十分行い、安心して来館できるよう努めた。今後も、継続して適切な管理運営を心掛ける。					
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 次期指定管理者指定に向け、水族館の適正な管理運営を継続して行い、併せて展示の更なる魅力づくりを図り、新型コロナウイルス感染症の影響で減少した入館者数を回復させる。また、指定管理者再指定に向け、提案書作成についての情報収集を行うこと。					
	課題への対応	【今後の課題への対応】 お客様の安心・安全を第一に考え、新鮮味のある展示を心掛け、ホスピタリティの充実を図る。また、新型コロナウイルス感染症の中にあっても、入館者数の増加・維持に努めるとともに、次期指定管理者の指定に向けプロジェクトチームを発足させる。					

改善に向けた取り組み 評価指標	今後改善を要する事項	水族館の取り組みに対する認知度の向上					
	改善のために取り組んだ内容	学校団体等を対象としたワークシートの制作や学校や社会教育施設への講師派遣を行った。また、環境教育・ESD・SDGsに資するプログラムを開発し実施した					
	取り組みによる成果	小学校から校外学習で来館する際に利用したいとの申し出が複数あり、少しずつ周知されていると思われる					
	改善・対応区分	A	B	●	C	D	E
	実施事項	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	計画	—	事業の定着を図る	事業のさらなる定着を図る	事業の充実と発展を図る		
	実績	—	事業の定着を図った				
	進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 小学校用のワークシートを2テーマ2種類を制作した。また、博物館等との連携事業である「にいがたダイバーシティネットワーク」主催のジュニア学芸員養成講座を当館で実施した。さらに、新たな環境教育(SDGs)プログラムとして、視覚障害者、聴覚障害者向けのプログラム実施した。					
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 水族館や水生生物への関心を呼び起こす機会や環境保全について考える機会をより多くの方に提供すること。					
	課題への対応	【今後の課題への対応】 学校団体等を対象としたワークシートは、新潟市教育委員会に相談し、意見を聞きながら質の高いより良いものを拡充していく。また、多くの学校団体等に活用していただくため周知を図る。					

7. 評価の結果

【団体の評価コメント】

<b>財務の健全性</b>
令和3年度は、自己資本比率のみ評価基準を満たさなかった。要因としては、基本財産を含めた純資産が少ないこと、直近2年間でコロナ禍の中で一般正味財産の増加がコロナ禍前と比較し少なかったことが考えられる。ただし、毎年自己資本比率は確実に上がってきており、毎期、黒字決算であるため財務は健全に保たれている。
<b>団体の自立性</b>
令和3年度は、運営補助金比率のみ評価基準を満たさなかった。要因としては、令和2年度と比較し指定管理料が減少したこと、運営補助金に係る人件費が定期昇給などにより前年度比で増えたことが考えられる。新潟市水族館の管理を、平成29年（2017年）度から（公財）新潟市開発公社との2ヶ年の共同事業体での指定を経て、令和1年（2019年）度から単独で5年間の指定管理期間をスタートさせ自立性の高い財団へと成長を図っている。
<b>経営の効率性・適正性</b>
令和3年度は、①管理費比率、②職員1人当たり管理費、③人件費比率が評価基準を満たさなかった。要因としては、令和2年度と比較し①経常費用が減少したこと、②職員数が1名減となったこと、③人件費が定期昇給などにより増えたことが考えられる。ただし、各種規程の策定、講習会への参加、外部の専門家（顧問弁護士、公認会計士、社会保険労務士）の指導・助言に基づき、効率性及び適正性を維持している。
<b>その他</b>
経営改善の個別の取り組みは、各項目とも改善に向けて進捗を図り一定の効果を出した。今後、シートに記載したとおり、課題への対応を実施していく。
<b>総括的な所見</b>
新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、財団の業務状況は良好で財政面及び水族館の管理運営面ともに特段の問題がない。また、中長期計画もほぼ予定どおり成果（結果）を出しているものと評価している。引き続き、改善事項に対応し、適正な経営に努める。

【新たに改善を要する事項】 ※「6. 経営改善状況」に記載のもの以外で改善を要する事項を記載

実施事項		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
評価指標	計画	採用計画の検討	正職員定年退職に伴う新規職員の採用	正職員定年退職に伴う若手職員の採用	正職員定年退職に伴う若手職員の採用
	実績	採用計画を検討			
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 持続可能な財団運営及び水族館運営を行うための世代交代が必要			
	課題への対応	【今後の課題への対応】 定年による大量退職に備え採用計画を早急に検討する			

【団体による総括的な評価】

当財団では、水族館運営において専門的な高い技能を持った職員を配置し、ハンズオン展示や教育効果の高いプログラムを数多く実施するなど、水族館の社会的使命を果たし、市政への寄与・貢献に務めている。また、来館者が快適な時間を過ごせる場を提供するとともに、効率的で円滑な運営に努めている。毎月実施するお客様アンケート調査でも展示生物や解説プログラムは高評価を受けている。 財団運営については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、財務の健全性等や個別事項など経営の改善を進めている。 全体としては、財団の設立目的に合致した事業・運営を行っているものと評価している。
---

【所管課による評価】

年間パスポートや各メディアを通じたPR等の入館者増加の取り組みにより、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、入館者の減少を最低限にすることができている。 また、社会教育施設として普及啓発活動にも力を入れており、参加者の満足度も高い水準を維持できているため、今後もより良い取り組みとなるよう努めて欲しい。
---